

頬粘膜切除術を受けられる患者さんへ(ネオパールシート使用あり)

患者氏名

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

項目	月日 (入院日/手術前日)	(手術当日)	(術後1日目)	(術後2日目)	(術後3日目)	(術後4日目)	(術後5日目)	(術後6日目~)	(術後10日目)退院
達成目標	入院の目的が理解できる 入院時の説明が理解できる	手術後の安静を守ることができる 感染予防策を行うことができる			経口摂取ができる			創部感染所見がない 熱発37.5度以下である	心理・社会面に問題がない 退院指導が理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	入院時、持参したお薬の確認を します 抗血栓薬(血液を固まりにくくす るお薬)を内服している場合は、 お知らせください ポピドンガーグルでの口腔ケア を開始します 毎日、医師の診察があります 平日(8時30分~) 火曜日(7時30分~) 土日祝日(9時~)	<手術前> 手術の前に、手術着に着替えます 手術が2番目以降の場合、9時頃 から点滴が開始となります 朝の内服薬は、医師が指示したも のを内服します 必要時、弾性ストッキングを履きま す 手術前に口腔ケアを行って下さい <手術後> 病室に戻ったら、酸素マスク、心電 図をつけます。数時間後に医師の 指示に従って酸素吸入を終了する ことがあります 傷の痛みが強い場合は坐薬や点 滴などの痛み止めを使用します 抗生物質の点滴を2回/日(朝・夕) 行います 持続点滴は継続します	着替えをします 弾性ストッキングを履いている 場合は、歩行開始後に脱ぎま す		抗生物質の点滴は夕で 終了です 医師の許可が出たら、 持続点滴が終了します 				
検査	外来で採血や肺機能検査、胸部 レントゲン検査を受けていない場 合は、入院時に受けます		採血		採血			採血	
活動・安静度	制限はありません	ベッド上安静です	歩行可能となります 最初の歩行は看護師が付き 添います						
食事	夕食までは制限はありません 麻酔科医師の指示に従い、絶飲 食を開始します	1日絶食です	鼻の胃管から、流動食を注入します 医師の許可が出るまで、口から食べ物、飲み物は摂れ ません		高3分粥食が開始になります		高5分粥食	軟飯食	
清潔	制限はありません	入浴できません	シャワーには入れません。身体拭きをします		医師の許可が出たら、シャワー浴ができます				
排泄	制限はありません	状況に応じて、尿の管が入ります 尿の管がない場合は、医師の許可 が出るまではベッド上で尿器を使用 して排泄します	歩行状態を確認して、尿の管 を抜きます トイレへの歩行が可能となりま す						
患者様及びご 家族への説明 栄養指導 服薬指導	入院後は、病棟内をご案内し、 入院生活について説明します 手術のオリエンテーションを行 い、手術当日や翌日以降の説明 をし、術前の準備を致します 口腔ケアの方法は、パンフレット で説明します 必要時は、弾性ストッキングのサ イズを測定し準備します 医師から手術についての説明が あります	ネオパールシートを使用している為、口の中を濡らす事ができません 歯磨きやうがいもできませんので、看護師が行います ネオパールシートが剥がれないように注意して下さい 			医師の許可が出たら、うがいや歯磨きが可能となります 口腔ケアの指導を行います		退院後の生活を踏まえて、看護師が退院指導を行いま す 状況を見て、薬剤師による薬剤指導を行います 		

注:イラストはMPCのイラスト集より転載

宮崎大学医学部附属病院

この経過表は治療期間中のおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承下さい